

## やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

# 中村康平展「思考の器」

会期:2018年10月5日(金)~10月23日(火)

会場:LIXILギャラリー



井戸茶碗 W170×H115mm

### | 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー ( <http://www.livingculture.lixil/gallery/> )

所在地: 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL : GINZA 2F

担当: 大橋恵美 田村志保

TEL : 03-5250-6530 Email : [xbn@lixil.com](mailto:xbn@lixil.com)



LIXIL ギャラリーでは2018年10月5日（金）～10月23日（火）の期間、中村康平展「思考の器」を開催します。

金沢の陶芸家の家に生まれた中村康平氏は、多摩美術大学彫刻科を卒業し、前衛的なオブジェ陶の旗手として活躍してきました。その造形作品はニューヨークのメトロポリタン美術館に所蔵されるなど、国内外で高い評価を得ています。

そしてこの十数年は、新たに抹茶碗を制作して人気を得ています。今展では中村氏が「思考の器」と呼ぶ茶碗約10点を展示します。



白楽茶碗 W125×H100mm

## 開催概要 | 中村康平展「思考の器」

会 期 2018年10月5日（金）～10月23日（火）

休 館 日 水曜日

開館時間 10：00～18：00

企画制作 株式会社 LIXIL

会 場 LIXIL ギャラリー

入 場 料 無料

詳 細 <http://www.livingculture.lixil/topics/gallery/gallery3/g3-1810/>

## 関連企画 | アーティスト・トーク

本展のアドバイザーである森孝一氏が、中村康平氏へインタビュー形式でトークを行います。

開催日時 2018年10月5日（金）18：00～18：30

会 場 LIXIL ギャラリー

## | 展覧会の見どころ |

中村氏は、陶芸に対する自身の考え方について「造形が現代的であるより、考えが現代の思想であることに意義を感じます。今、時代は近代の反省の意味合いもあり、日本文化再考、古典回帰の意義に目覚めているわけですが、陶芸家の私は古陶磁を<写す>のではなく、<引用>することでその意義を表現できると考えています」と語ります。

今展では、井戸茶碗、青井戸茶碗、カセ黒楽茶碗、白楽茶碗(不二山)、伊羅保茶碗、刷毛目茶碗、粉引茶碗、三島茶碗など約10点が展示されます。

中村氏の「思考の器」を会場にてご覧ください。

## | 作者略歴 | 中村康平 (Nakamura Kohei)

- 1948 中村梅山の三男として金沢に生まれる
- 1973 多摩美術大学彫刻科卒業
- 1979 文化庁第一回国内研修員に選ばれる
- 1984 「現代の陶芸Ⅱ いま大きなやきものになにが見えるか」 (山口県立美術館/山口)
- 1986 「国際陶磁器フェスティバル美濃'86」 (多治見・岐阜)  
「大阪現代アートフェア'86」 (大阪府立現代美術センター/大阪)
- 1988 「シガ・アニュアル'88 陶・生まれ変わる造形」 (滋賀県立近代美術館/滋賀)
- 1989 「今日のクレイ・ワーク」 (神奈川県民ホール/神奈川)  
「'89 八木一夫賞現代陶芸展」 グランプリ受賞 (東京、大阪)  
「国際陶磁器フェスティバル美濃'89」 (多治見・岐阜)
- 1990 「日本のクレイ・ワーク」 国際交流基金  
(韓国/オーストラリア/マレーシア/インドネシア/タイ)  
「朝日現代クラフト展」 招待 (うめだ阪急/大阪、有楽町阪急/東京)  
「セラミック・アネックス・シガラキ」  
(信楽伝統産業会館、滋賀県立近代美術館ギャラリー/滋賀)
- 1991 「国際現代陶芸展「変貌する陶芸」 (滋賀県立陶芸の森/滋賀)  
「『土・メッセージ』 IN 美濃」 (多治見市文化会館/岐阜)
- 1992 「国際コンテンポラリーアートフェア」 (パシフィコ横浜/神奈川)  
「日本の陶芸『今』100 選展」 (三越エトワール/パリ・フランス、本支店巡回)  
「陶芸の現代性」 (神戸西武/兵庫、西武池袋/東京)  
「日本六古窯陶芸選抜展」 (瀬戸市文化センター/愛知)  
「名古屋市民芸術祭'92 陶一空間の磁場」 (名古屋市民ギャラリー/愛知)  
「International Exhibition of Ceramic Art」 (国立歴史博物館/台湾)
- 1993 「現代の陶芸 1950-1990」 (愛知県美術館/愛知)
- 1994 「国際現代陶芸展」 (愛知県陶磁美術館/愛知)
- 1996 「サントリー美術館大賞特別展」 (サントリー美術館/東京)
- 1999 「Contemporary Ceramic Art」  
(メトロポリタン美術館/ニューヨーク・アメリカ)  
「陶芸ジャパン」 (大阪国際見本市/大阪)  
「日本の工芸『今』100 選展」 (三越エトワール/パリ・フランス、本支店巡回)  
「日本現代陶芸一前衛の動向」  
(ファン・ボンメル・ファン・ダン・フェンロ市立美術館/オランダ)
- 2005 「アルス・ノーヴァ：現代美術と工芸のはざまに」 (東京都現代美術館/東京)
- 2009 「大地の芸術祭 越後妻有トリエンナーレ」 (十日町・新潟)
- 2012 「工芸未来派」 (金沢 21 世紀美術館/石川)
- 2013 「現代の名碗」 (菊池寛実記念智美術館/東京)
- 2016 「工芸未来派」  
(ミュージアム・オブ・アーツ・アンド・デザイン/ニューヨーク・アメリカ他)



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。